

平成25年11月18日

徳島県総合計画審議会
会長 近藤光男 殿

県政運営評価戦略会議
会長 石田和之

「いけるよ！徳島・行動計画」の評価結果及び
「県民からの優れた意見・提言」について

県政運営評価戦略会議設置要綱第2条の規定により、本年度実施した「いけるよ！徳島・行動計画」の評価結果及び「県民からの優れた意見・提言」について、別添のとおり提言します。

徳島県総合計画審議会におかれては、次年度の行動計画や既存事業の見直し、新たな施策展開などにつなげていただきたい。

提 言 書



平成 2 5 年 1 1 月 1 8 日

県政運営評価戦略会議

は じ め に

県政運営評価戦略会議は、徳島ならではの施策や事業が「最少の経費」で「最大の効果」を発揮できるよう、「県民目線からのチェック」と「県民意見の県政への積極的な反映」を図ることを目的に、平成23年10月に発足しました。

この戦略会議では、昨年度に引き続き、「いけるよ！徳島・行動計画」の主要事業を対象に評価を行うとともに、今年度においては、行動計画の前半2年間で終了したことを踏まえ、中間評価として、これまでの取組の成果に重点を置いて評価を実施しました。

また、とくしま目安箱等に寄せられた「県民からの意見・提言」についても戦略会議で審議し、県の施策に反映すべき優れた意見・提言として14件を選定いたしました。

これらの評価結果等について、提言書として取りまとめましたので、徳島県総合計画審議会において、速やかに御協議いただき、進化する「いけるよ！徳島・行動計画」として「既存事業の見直し」や「新たな施策・事業の展開」、「徳島発の政策提言」等に御活用いただきたいと思いますと考えております。

平成25年11月18日

県政運営評価戦略会議
会 長 石田 和之

目 次

1 県政運営評価戦略会議について	1 頁
(1) 役 割	1 頁
(2) 委員について	1 頁
2 今年度の政策評価	2 頁
(1) 開催状況	2 頁
(2) 評価方法	2 頁
3 評価結果	4 頁
(1) 主要事業の評価結果等	4 頁
(2) 戦略会議の総括意見	5 頁
(3) その他	6 頁
4 「県民からの優れた意見・提言」の採択について	7 頁
5 県政運営評価戦略会議 委員名簿	9 頁

(別冊)

「いけるよ！徳島・行動計画」主要事業等評価シート

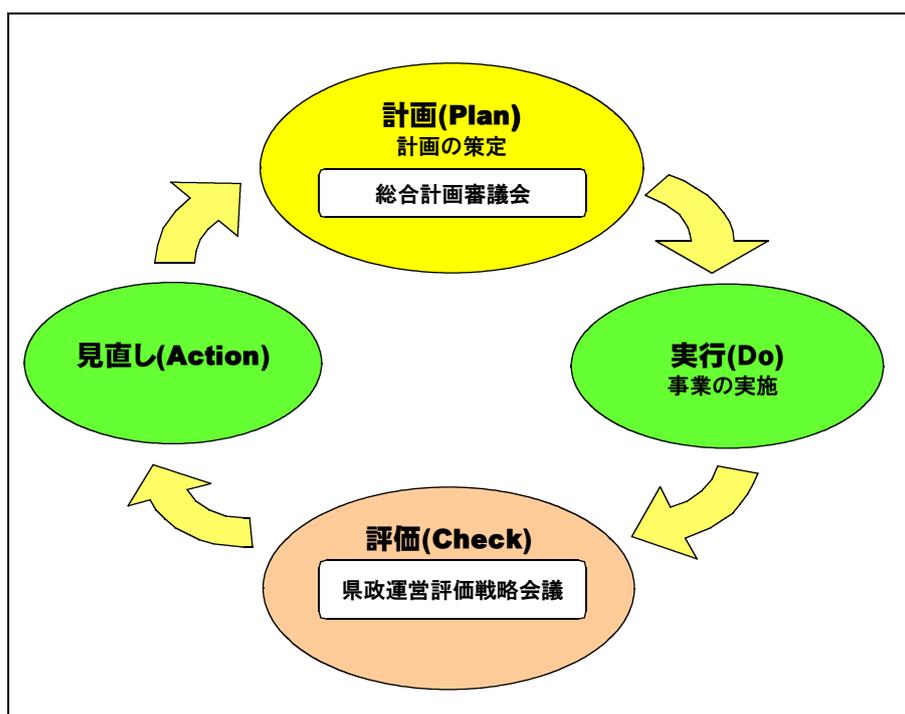
1 県政運営評価戦略会議について

(1) 役割

「いけるよ！徳島・行動計画」（以下「行動計画」という。）の評価については、県民目線からのチェック機能の強化を図るため、行動計画の策定・推進から評価までを担っていた「徳島県総合計画審議会」の評価部門を切り分け、平成23年10月から、新たに設置した第三者機関である「県政運営評価戦略会議」（以下「戦略会議」という。）において実施している。

この戦略会議で協議された評価結果は、徳島県総合計画審議会に提言され、次年度の行動計画や既存事業の見直し、新たな施策展開などに繋げていくこととしている。

また、戦略会議においては、「とくしま目安箱」などに寄せられた県民からの意見・提言について、優れたものを選定し、徳島県総合計画審議会に提言することにより、県民意見の県政への積極的な反映を図る役割も担っている。



(2) 委員について

戦略会議の委員は、大学教授などの学識経験者や企業・団体関係者、地域のリーダーなど、14名で構成している。（委員名簿は9頁参照）

2 今年度の政策評価

(1) 開催状況

今年度の戦略会議は、7月31日の第1回会議を皮切りに8月29日まで、基本目標ごとに7回にわたり開催した。

	日 程	評価対象となる基本目標	班別
第1回	7月31日(水)	基本目標5「みんなが主役・元気とくしま」	全体
第2回	8月 8日(木)	基本目標3「安全安心・実感とくしま」	1班
第3回	8月 8日(木)	基本目標6「まなびの ^{くに} 邦・育みとくしま」	1班
第4回	8月19日(月)	基本目標7「宝の島・創造とくしま」	1班
第5回	8月22日(木)	基本目標1「にぎわい・感動とくしま」	2班
第6回	8月29日(木)	基本目標2「経済・新成長とくしま」	2班
第7回	8月29日(木)	基本目標4「環境首都・先進とくしま」	2班

注) 会議の進行は、全体が石田会長、1班は阿部副会長、2班は南波委員が実施。

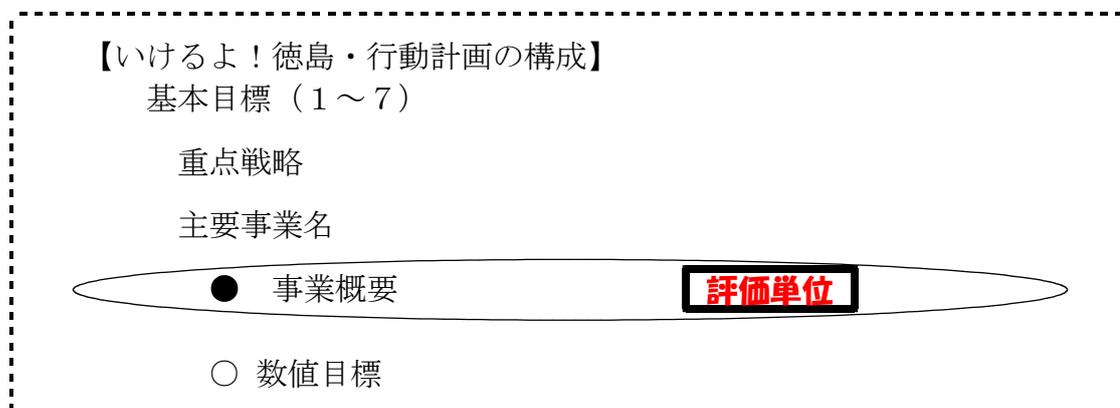
(2) 評価方法

今年度は、行動計画の前半2年間が終了したことを踏まえ、中間評価として実施し、「H23・H24年度 of 取組内容及び成果」と「今後の取組方針」の2つの視点から評価することとした。

評価方法としては、あらかじめ、担当部局が作成した主要事業（事業概要）ごとの「評価シート」に基づき、委員の代表者が作成した「評価案」について、戦略会議の場で議論した上、「評価結果」として取りまとめるという方法で行った。

ア 評価の単位

今年度は、昨年度と同様に行動計画に位置付けられた主要事業（744事業）を対象として実施した。



イ 評価項目等

各主要事業の評価項目、評価区分及び項目ごとの評価の目安は、次のとおりとした。

評価項目	評価区分	評価の目安
○H23・H24における取組内容及びこれまでの成果	妥当	取組内容及び数値目標が妥当であるとともに、数値目標が達成され、これまでの取組みにより具体的な成果が十分に上がっているもの
	概ね妥当	取組内容及び数値目標が妥当であるとともに、数値目標がほぼ達成されている等、一定の成果が上がっているもの
	不十分	取組内容や成果が不十分であるもの
○今後の取組方針	妥当	進捗状況を踏まえた課題把握及び今後の取組方針が妥当であり、目標が順調に達成できると見込まれるもの
	概ね妥当	進捗状況を踏まえた課題把握及び今後の取組方針が概ね妥当であり、目標の達成が可能であるもの
	不十分	課題把握や今後の取組方針が不十分であり、目標の達成に更なる努力を要するもの

ウ 評価

各主要事業の評価については、上記イで示した2つの評価項目により、次のA～Dの4段階で示すこととした。なお、中間評価であることから、2つの評価項目のうち、「取組内容及びこれまでの成果」に重点を置いて評価することとした。

A：順調， B：概ね順調， C：要見直し， D：抜本的な見直し

A～Dの評価の目安		取組内容及びこれまでの成果		
		妥当	概ね妥当	不十分
今後の取組方針	妥当	A	B	C
	概ね妥当	A	B	C
	不十分	B	C	D

3 評価結果

(1) 主要事業の評価結果等

戦略会議での評価結果は、「A（順調）」と評価されたもの486事業（65.3%）、「B（概ね順調）」とされたもの206事業（27.7%）、「C（要見直し）」とされたもの47事業（6.3%）、「D（抜本的な見直し）」とされたもの5事業（0.7%）となった。（表－1）

表－1 主要事業の評価結果について 上段：事業数，下段：%

基本目標	評価				
	A 順 調	B 概ね順調	C 要見直し	D 抜本的 な見直 し	計 (比率)
1 にぎわい・感動とくしま	58 (56.3)	38 (36.9)	7 (6.8)	0 (0)	103 (100.0)
2 経済・新成長とくしま	80 (62.5)	39 (30.5)	8 (6.3)	1 (0.8)	128 (100.0)
3 安全安心・実感とくしま	114 (75.5)	31 (20.5)	5 (3.3)	1 (0.7)	151 (100.0)
4 環境首都・先進とくしま	56 (56.0)	30 (30.0)	14 (14.0)	0 (0)	100 (100.0)
5 みんなが主役・元気とくしま	53 (73.6)	17 (23.6)	2 (2.8)	0 (0)	72 (100.0)
6 まなびの邦・育みとくしま	55 (65.5)	26 (31.0)	3 (3.6)	0 (0)	84 (100.0)
7 宝の島・創造とくしま	70 (66.0)	25 (23.6)	8 (7.5)	3 (2.8)	106 (100.0)
計 (比率)	486 (65.3)	206 (27.7)	47 (6.3)	5 (0.7)	744 (100.0)
参考 H24年度の評価比率	(47.2)	(46.3)	(5.7)	(0.8)	(100.0)

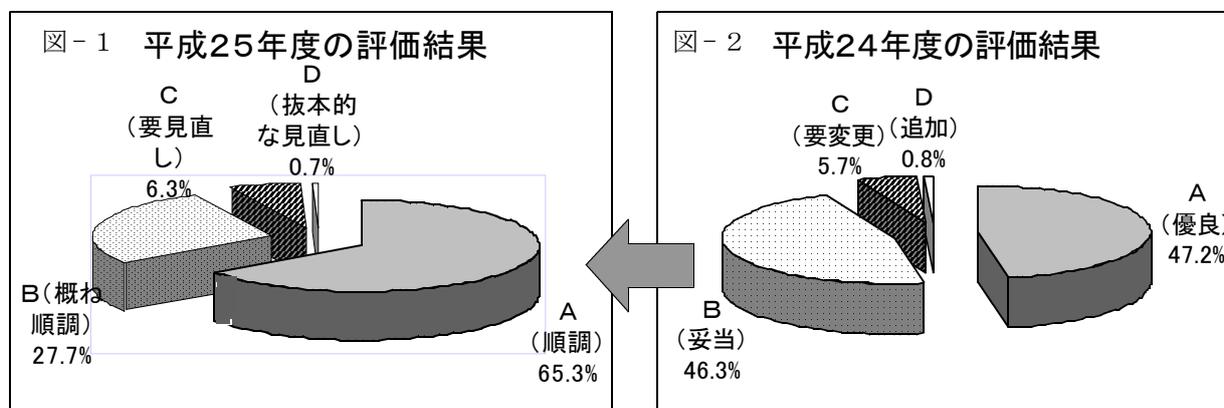
また、主要事業ごとの評価結果は、別冊の「いけるよ！徳島・行動計画」主要事業等評価シートのとおりである。

(2) 戦略会議の総括意見

今年度の評価結果（図－1）は、昨年度の評価結果（図－2）と比較すると、A評価が増加（18.1ポイント増）し、B評価が減少（18.6ポイント減）しており、A評価及びB評価の合計については、昨年度と大きな変化がなかった。

昨年度と比較して、A評価が増加した要因については、

- ・ 昨年度は、行動計画の初年度の評価であったが、今年度は、計画期間（4年）の半分が経過したことから、取組の成果が目に見える形で現れてきたこと
- ・ 昨年度の評価を踏まえて、各部局が事業の推進に努力したことなどが考えられる。



一方、「見直し」が必要なC評価及びD評価の合計は、ほぼ昨年並（H25:7.0%、H24:6.5%）となっており、減少が見られない。

C評価及びD評価を受けた主要事業については、それぞれの評価意見を参考に、次年度の行動計画や事業推進方法等の見直しに積極的に取り組んで欲しい。

（別冊279ページ～307ページ「C評価・D評価の主要事業一覧」参照）

特に、昨年度の評価に引き続き、2年連続でC又はD評価とされたものが、次の15事業認められたので、所管部局においては、取組内容、課題把握、今後の取組方針など事業全般を通じて、しっかりと見直しに取り組む必要がある。

（主要事業のうち、番号6, 18, 311, 369, 405, 421, 428, 449, 519, 583, 589, 703, 716, 717, 718）

現在の「いけるよ！徳島・行動計画」の計画期間終了（平成26年度末）まで、残すところ1年数ヶ月となっている。今後、各事業における最終目標の達成に向けて、全庁一丸となって取り組んでいただきたい。

(3) その他

なお、戦略会議の評価にあたって、次のような意見が出されたので、併せて検討をお願いしたい。

- ・ 最終年度（平成26年度）の数値目標を既にオーバーしているものがあるが、数値目標を速やかに修正する必要がある。
- ・ 数値目標を設定しているが、翌年度にその結果が分からず、2年経ってはじめてその結果が分かるような数値目標が見受けられる。評価を行うにあたって、事業効果を数値目標（実績）から判断することができないため、別の指標の設定についても検討が必要ではないか。
- ・ 数値目標が設定されていない主要事業には、単に、「促進」、「推進」などとしか記載されていないものがあるが、数値目標の設定なども含めて、到達点を明確にしておく必要がある。
- ・ 成果指標（アウトカム指標）を数値目標に掲げている主要事業においては、結果が出るまでに時間がかかったり、数値目標を達成するのが難しいことが多いが、そうした場合は、成果指標とともに活動指標（アウトプット指標）も併せて設定することを検討してはどうか。
 - アウトプット指標＝事業実施に直接関連する指標
（例えば、道路の整備延長、パトロール巡回件数など）
 - アウトカム指標＝成果に関する指標
（例えば、渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど）
- ・ 「主要事業等評価シート」の記載において、事業推進上の課題が示されていないもの、「今後の方針」において具体的方策が明確でないもの、数値目標がない事業において具体的な取組内容や実績も十分示されていないもの等があった。

次年度の主要事業等評価シートの記載の際には、各所管部局はこうしたことのないよう留意して欲しい。

4 「県民からの優れた意見・提言」の採択について

「県民からの優れた意見・提言」の採択については、平成24年7月から平成25年6月までに「とくしま目安箱」に寄せられた意見・提言（1046件）や、同期間中に開催された「わくわくトーク」、「知事・市町村長会議」で出された意見の中から、あらかじめ事務局で選択した意見等について、各委員にアンケートを実施し、投票数が多かったものを第1回戦略会議で審議した結果、次の14件を採択した。

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」

	提言先	項目	意見・提言の概要
1	目安箱	阿波踊りUstream配信	鳴門市と徳島市阿波踊り開催期間中に、CATVで生放送している内容を、そのままインターネットへUstream配信等できないか。インターネット配信すれば、県外、世界中で見ることになり、徳島県と阿波踊りのPRになると思う。
2	目安箱	徳島県にも通称を	香川県は、うどん県という通称をつけているが、徳島県も阿波踊り県かLED県などのような通称を付けてはどうか。
3	目安箱	すだちくん20年	すだちくんが東四国国体のマスコットとなって来年で20年になる。20歳になるすだちくんの成人式を催してはどうか。
4	目安箱	通学自転車のオートライト義務化へ	無灯火の通学者をよく見かけるので、通学にオートライト自転車を義務化して欲しい。オートライトであれば、故障しない限り、無灯火による事故は防げるはずである。
5	目安箱	野菜摂取量の増加のための「徳島鍋」	徳島県は、産地でありながら野菜摂取量が低い県である。野菜摂取量増加のために徳島県産の野菜、肉、魚介などを利用した「徳島鍋」のレシピを公募して、徳島の食材の魅力再発見と野菜1日350g食べるという啓発活動を行ってはどうか。
6	目安箱	自転車レースの開催	徳島だけでなく四国四県を巻き込んだツールドフランスのような自転車レースを提案する。年ごとにスタート地点を持ち回りにして、名所巡りやチェックポイントには名産品のフードコート等を設置し、1日1県の比較的のんびりしたものにしてはどうか。
7	目安箱	道路（通り）や交差点に名前を	徳島県内の国道をはじめ、県道や市道又は交差点には名前がほとんどついていないため、事故などの非常時の通報や道案内をする際に非常に困る。各道路とせめて交差点くらいに名前がついて案内板が出て良いのではないか。

	提言先	項目	意見・提言の概要
8	目安箱	未利用農地	農地は、食料自給率、食の安全等の点から保護しないといけない面があるが、公共性の高い環境エネルギー、電気自動車の充電スタンド、携帯の基地局などの設置については、農地利用の規制を緩和してはどうか。
9	目安箱	橋の博物館とくしま	橋の博物館とくしまがHPに掲載されたが、こうした橋は徳島の地域資源である。「橋の博物館とくしま」の碑文や橋の歴史を紹介するものを設置し、廻って楽しめるようにしてはどうか。
10	目安箱	「徳島県立農林水産総合技術支援センター」の略称	「徳島県立農林水産総合技術支援センター」が本年発足したが、名称が18字あり、所属する者も県民も呼ぶにはあまりにも長すぎて困惑していると思われる。略称を決めて運用してはどうか。
11	目安箱	県の公式HPにリンクバナーの設置	徳島県公式ホームページに、リンクバナーを置いてはどうか。
12	知事・市町村長会議	小水力発電(再生可能エネルギー)	小さな溪流とか用水路に余っている水を有効利用して小水力発電に取り組むために、大学や県の研究機関で技術開発をお願いしたい。
13	知事・市町村長会議	市民参加型の一斉震災対策訓練	米国では「シェイクアウト」という広い地域が一体となった、一斉の避難訓練が行われているという。徳島県でも、南海地震を想定して、徳島県挙げての一斉避難訓練「シェイクアウト」をぜひ実施してほしい。
14	わくわくトーク	徳島県に女子のプロサッカーチームを	男子のサッカーは、徳島ヴォルティスが四国で最も早くJリーグに参加した。ぜひ、女子のサッカーも将来なでしこリーグに昇格できるようプロチームを地元で作って欲しい。

5 県政運営評価戦略会議 委員名簿

	氏 名	現 職 等	班別
会 長	石田 和之	徳島大学大学院 准教授	1
副会長	阿部 頼孝	徳島文理大学 徳島文理大学短期大学部 教授	1
委 員	井関 佳穂理	公認会計士	1
〃	坂本 真理子	NPO法人郷の元気 副代表理事	2
〃	佐和 良佳	美馬市社会福祉協議会 事務局長	1
〃	田村 耕一	(公財)徳島経済研究所 専務理事	2
〃	土佐 和恵	松茂農業協同組合 女性部長	2
〃	南波 浩史	徳島文理大学 教授	2
〃	橋本 延子	女性林業研究グループ「那賀川こまち」 会長	1
〃	浜口 伸一	(株)ハマグチ 代表取締役	2
〃	濱口 英代	和田島漁業協同組合 参事	2
〃	福島 明子	四国大学 講師	2
〃	藤原 学	四国労働金庫 徳島営業本部 常務理事	1
〃	森本 長生	(株)道の駅日和佐 駅長	1